

氏名	荒 木 元 朗
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 2416号
学位授与の日付	平成14年3月31日
学位授与の要件	医学研究科外科系泌尿器科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Molecular Epidemiological Studies of <i>Staphylococcus aureus</i> in Urinary Tract Infection (尿路感染症由来黄色ブドウ球菌の分子疫学的研究)
論文審査委員	教授 小熊 恵二 教授 中山 睿一 教授 山田 雅夫

学位論文内容の要旨

尿路における *S. aureus* の病原性および院内感染の実像について検討した。対象は1990年～1999年の泌尿器科病棟における尿路感染症由来 *S. aureus* 139株(MSSA 45株, MRSA 94株)で、抗菌薬耐性遺伝子(*mecA*, *aph*(3')-III, *aac*(6')-aph(2''), *ant*(4')-I), 毒素産生遺伝子(*tst*, *sea*, *seb*, *sec*)を multiplex PCR によって検出した。*tst*, *sec* 両遺伝子保有株が分離された症例で有意($p=0.0484$)に有熱症例が多くみられ、*S. aureus* の病原因子として *tst*, *sec* 両遺伝子の関与が示唆された。また、MRSA の毒素産生遺伝子の保有率は MSSA の2倍以上であった。1996年以降、コアグラゼⅡ型、*ant*(4')-I, *tst*, *sec* 遺伝子保有 MRSA の年次的増加を認めたが、RAPD や PFGE の検討から、直接的な交差感染の増加は認めなかった。

論文審査結果の要旨

本研究は、1990～1999の期間中に、岡山大学付属病院泌尿器科に入院した尿路感染症の患者由来 *S. aureus* (MSSA45株、MRSA94株)における、抗菌薬耐性遺伝子(*mecA*, *aph*(3')-III, *aac*(6')-aph(2''), *ant*(4')-I)と毒素産生遺伝子(*tst*, *sea*, *seb*, *sec*)の存在を multiplex PCR により、また、菌の遺伝子型を RAPD と PFGE で検討したものである。これにより、*tst*, *sec* 両遺伝子保有株が分離された症例で有意に有熱症例が多く見られることを認め、*S. aureus* の病原因子として *tst*, *sec* の両遺伝子が関与していることを示唆した。年次的変化では、1996年以降、コアグラゼⅡ型、*ant*(4')-I, *tst*, *sec* 遺伝子保有 MRSA は増加しているが、RAPD や PFGE の検討から、直接的な交差感染の増加はないことを認めた。

よって、本研究は価値あるものと認め、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると判定した。